

羽島市特別職報酬等審議会 会議録（要旨）

日 時	令和8年7月2日(木) 午後2時～3時
場 所	羽島市役所4階 第一委員会室
出席者	（審議会委員） 羽島市自治委員会会長 小森 博昭氏 羽島商工会議所会頭 高木 豊氏 社会福祉法人羽島市社会福祉協議会会長 中畑 弘氏 UA ゼンセン長谷虎紡績労働組合長 岩越 紀明氏 学識経験者（羽島市女性人材バンク登録者）浅井 都氏 （市側） 総務部長 高橋 宏成、職員課長 岩田 恭一、同課長補佐 田島 裕史 議会事務局議会総務課長 浅井 元彦、同課長補佐 堀 真人
内 容	1 開会 会議については、前回決定のとおり非公開としていることを確認。 2 議事 ○資料の配付 資料1 羽島市特別職報酬等審議会会議録（要旨） 資料2－1 羽島市議会議員定数・報酬等に関するアンケート調査結果報告書 資料2－2 羽島市議会市民アンケート結果の概要 資料3 （県内市）ラスパイレス指数 資料4 （羽島市）政務活動費会派別支出状況 資料5 （羽島市）議員報酬等の改定の影響額 資料6 （県内市）令和7年度に開催された県内他市の審議会答申内容 資料7 （羽島市）特別職の報酬等の額について（答申）【案】 ○会議の公開・非公開について ・前回から諮問事項の審議過程は非公開としていることを説明。 ○説明 事務局より配付資料に基づき順次説明 ○審議事項（委員の意見） <u>議員の定数について</u> ・市民アンケートは、回答率も高く、男女の回答率も差がないことから信頼できる意見として尊重すべき。 ・市民アンケートは2人以上の削減希望が多く、議会での採決を考えると2人が良い。 ・本来は3～4人の削減が理想的だが、議会でも可決されることを考慮すると、2人削減が妥当。 ・極端に一度で減らせないので、段階的に減らしていくのがよい。 ・県内他市の事例では、極端すぎて否決された例もあり、あまり極端だと議会でも可決されないのでは2人削減でよい。

- ・議員は多すぎると感じる。できる限り少ない方がよい。
- ・最低でも 2 人は削減すべき。
- ・定数を削減すれば議員活動が活発になるのではないか。
- ・議員数は少ない方が活動しやすくなるのではないか。
- ・得票数が少なくても当選できることに疑問を感じる。一定の得票数を得ないと当選できないようにすべきであるが、制度上、定数を減らすしかない。

議員の報酬の額について

- ・議員定数を 2 人削減で出すのであれば報酬は多少引き上げてもよい。
- ・中企業では 1 万円くらい上がっている。引上げ額としては 1 万円が妥当な額と考える。
- ・民間ではベースアップのみで 1 万円はないと思う。定期昇給を含めて 1 万円あるくらい。
- ・小企業だと 1 万円も上げられない。
- ・市民感覚では引き上げなくてもよいと思うが、定数を 2 人削減出来るのであれば 1 万円の引上げは賛成する。
- ・近年の物価高も加味すれば 1 万円の引上げでよい。
- ・1 万円の引上げに賛成である。
- ・あまり報酬が安いとサラリーマンを辞めて議員になろうという人がいなくなる。
- ・議員報酬の改定は、率で見るとベースが高いと改定額が高くなるため、金額で見た方がよい。
- ・議員報酬を上げる前に職員の給与を上げるべきである。

政務活動費の額について

- ・現行の 8 万円は多くない額なので、1 2 万円くらいに引き上げるのでよいのではないか。
- ・活動費をチラシに使うことはもったいない。調査費に使うのであれば理解できる。
- ・広聴費にほとんど使われていないのが気になる。市民の声をあまり聞いていないのでないか。
- ・会派に支給すると議員同士で遠慮もあるだろうから、個人支給でもよいと考える。

附帯意見について

- ・今回は、議員報酬のみを審議しているが、本来は議員報酬と同時に市長等の報酬についても審議すべき。
- ・現在、市長は報酬の引き上げを考えて見えないかもしれないが、昨今の物価高や賃金の上昇を考えると今後は引上げの検討をされてもよい。
- ・市長は休みもなく働き激務である。議員の報酬を上げるのであれば市長の報酬も上げるべき。
- ・本来は議員の報酬を引き上げる時は、市長の報酬もセットではないか。
- ・議会が決めた定数 1 減で報酬や政務活動費を引き上げた場合は、財

政効果がなくなってしまうので、定数１減とされた場合は、報酬は引き上げなくてもよいのではないか。

- ・答申の結果を見て、議会で定数を削減されないことも考えられるが、そうなっては審議した意味がなくなる。
- ・今回の審議会では定数は３から４削減する意見であったが、議会に受け入れてもらわないと意味がないので、議会が受け入れ可能な定数２削減でまとまった。このことは強く意見として出すべき。
- ・議会で定数は１減で決定される場合もあると思われるので、その場合は報酬も活動費も据置きでよい。
- ・仮に定数１減の場合は報酬も活動費も据置きと決めてしまうと、定数は現状維持でいいという考えになってしまうか心配。１減となった場合は、定数削減推進のインセンティブを損なわないよう報酬のみ据置きも考えられる。
- ・審議会では、議員定数は２人以上削減する、本来なら３から４人削減する必要があるとの意見であったが、議会に受け入れてもらわないと意味がないので２人減でまとまった。現状維持を避けるために、１減の場合は報酬のみ据置きとする附帯意見で良い。
- ・職員の給与は他市と比べて低いので、議員の定数を削減して経費が削減されることを期待する。削減された分で職員の給与を上げてほしい。

3 閉会